

ご案内

平田オリザとドラマチックに過ごすクリスマスイブ！：
日本語教師と学習者のための日本語コミュニケーションワークショップ

とき：12月24日（月）
10時—3時（お昼休憩—12時—1時）
ところ：立教大学14号館B01

私たち国際表現言語学会では過去に日本語教師のためのシナリオ作りワークショップなどで、演劇界で活躍する方を講師にお招きし、「リアル」なことばでできたシナリオを作りそれを語学教育に活かす、という試みを企画しました。参加者から大変好評でしたが、一方で、いかに「リアル」なことばで日本語教育の現場で使えるようなシナリオを作ることが一筋縄では行かないか、ということも痛感しました。

昨年行われた山内健司さんのワークショップでは、私たち自身がどんな風に「おしゃべり」しているのかを見つめるところから「リアル」な日本語に近づいていく試みを経験しました。

今年の3月、国際表現言語学会理事であり学会発起人である4人（平田オリザ、川口義一、橋本慎吾、野呂博子）は当学会が会創立以来行っている活動の集大成ともいべきコミュニケーション教育に関する理論、実践をまとめた本をココ出版から刊行いたしました。

この『ドラマチック日本語コミュニケーション—「演劇で学ぶ日本語」リソースブック』には平田オリザ氏と青年団の若手劇作家による日本語学習者のためのシナリオが所収されています。今回はこのシナリオをどのように使うのか、シナリオ作者である平田氏がワークショップを行います。

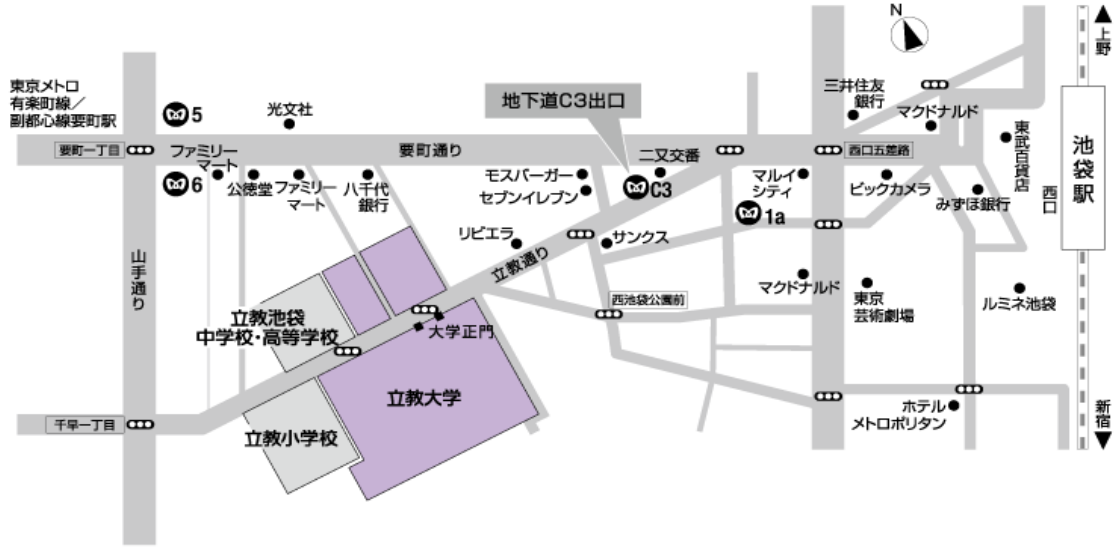
講師、平田オリザ氏プロフィール

劇作家・演出家

現在、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授、四国学院大学客員教授・学長特別補佐、（公財）舞台芸術財団演劇人会議理事長、埼玉県富士見市民文化会館キラリ☆ふじみマネージャー、BeSeTo 演劇祭日本委員会委員長、日本劇作家協会副会長、日本演劇学会理事、（財）地域創造理事、東京芸術文化評議会評議員、文部科学省コミュニケーション教育推進会議委員（座長）。

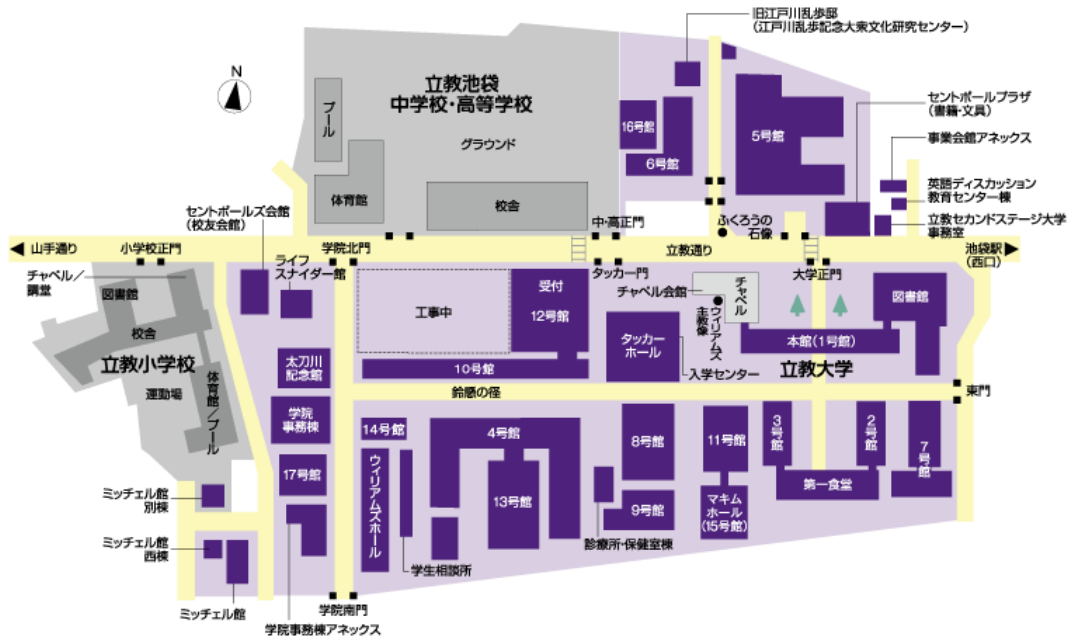
演劇はもとより教育、言語、文芸などあらゆる分野の批評、随筆などを各誌に執筆。近年は、公演やワークショップを通じて、フランスをはじめ韓国、北米、オーストラリア、東南アジア、中国など海外との交流も深まっている。また、2002年度以降中学校の国語教科書で、2011年以降は小学校の国語教科書にも平田氏のワークショップの方法論に基づいた教材が採用され、多くの子どもたちが教室で演劇を創作する体験を行っている。他にも障害者とのワークショップ、自治体やNPOと連携した総合的な演劇教育プログラムの開発など、多角的な演劇教育活動を展開している。

池袋駅西口からの道順



2011.04

キャンパスマップ



2011.04

参加費：国際表現言語学会会員 3000 円
非会員 4000 円

参加希望の方は事務局の野呂 (hnoro@uvic.ca) までご連絡ください。参加費納入は原則として振込みです。参加希望の通知をいただきましたら、振込み先をご連絡いたします。

ご注意

1. お昼をはさんでのワークショップです。
2. このワークショップは参加希望者 40 名が上限です。参加申込が 40 名に達しましたら、申込を締め切らせていただきますのでご了承ください。
3. 当日は動きやすい服装で来てください。筆記用具もご持参ください。